

長野式臨床研究会

平成19年 マスタークラス 東京セミナーQ&A

第2回 平成19年4月22日分 講師 長野康司
長野式臨床研究会ホームページ <http://www.naganoshiki.jp/>

- 質問1 「ゼイ骨」とはどのようなものですか？
靭帯の硬化により骨化したもの
- 質問2 「積滞」とはどのようなものですか？
気や血が滞っている状態（瘀血など）
- 質問3 「森田療法」とはどのようなものですか？
神経症の治療法（カウンセリングを行い、自身の状態を受け入れ治療に導く方法）
- 質問4 むち打ちの後遺症で僧帽筋の緊張を取る為の「内陰」ですが、その取穴部位と刺鍼の仕方を教えてください。
取穴は腎経上で「陰谷」又は「膝蓋上角」から4～5横指上の反応点に取り、刺鍼は僧帽筋の緊張が緩むまで雀啄を行います。（両側行ってよい。）
- 質問5 うつ病に対する処置としての血流の促進を図る為「C7,T1」の横V字椎間刺鍼を行うとのことですが、椎骨脳底動脈血流促進には「委中・飛陽・崑崙」が効果があるのではないのでしょうか？
椎骨脳底動脈の血流促進には「委・飛・崑」も有効ですが、うつ病に対しては「C7、T1」の横V字椎間刺鍼を第一に選択して下さい。
- 質問6 薬を服用していると脈状があてにならなくなるのですか？
薬物の長期間の服用により脈状が本来の脈状を隠してしまいます（仮面の脈）。その場合、症状に合わせて治療をしながらマメに検脈を行っていくと本来の脈状になりますので、その本来の脈状に対して更に処置を行って下さい。